平成 19 年度

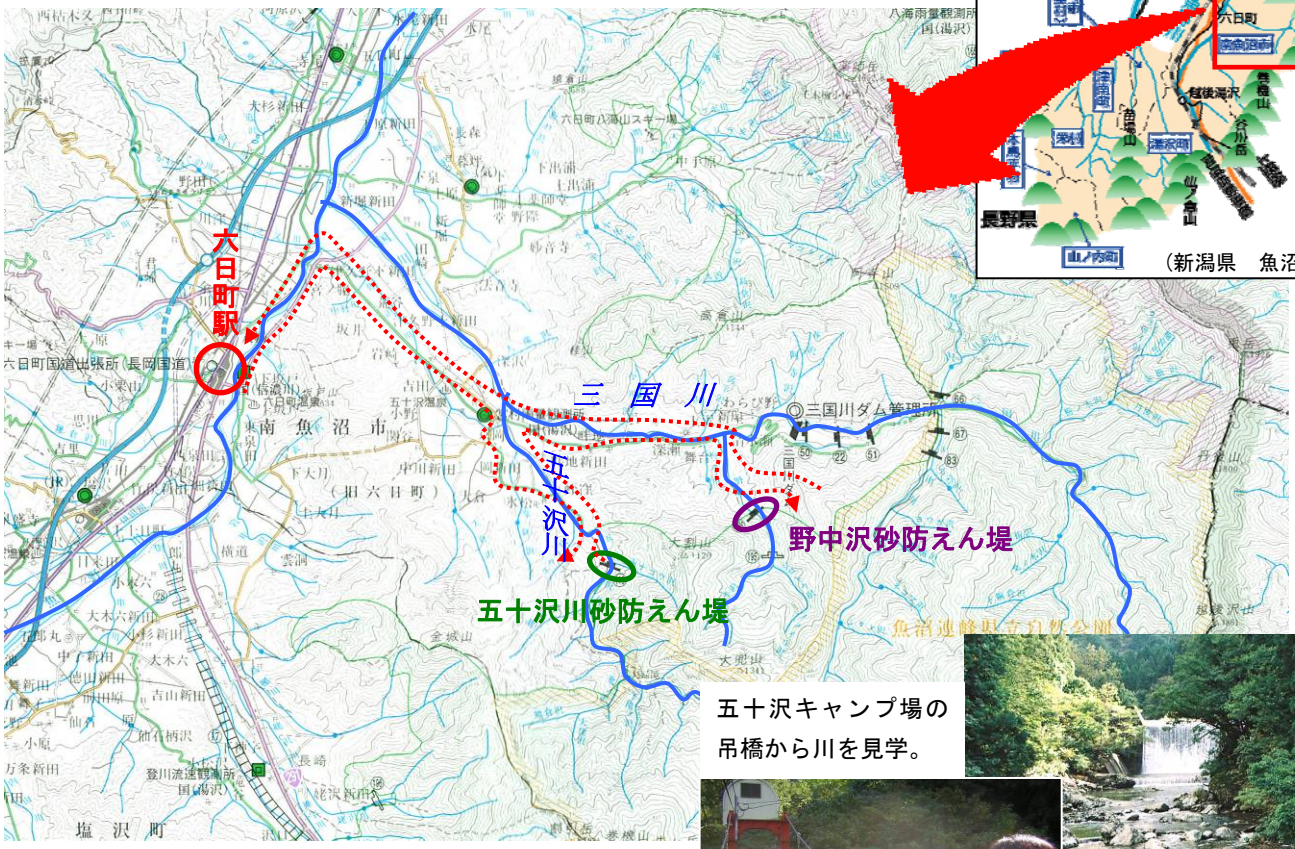
湯沢砂防女性モニターレポート　第2回見学会

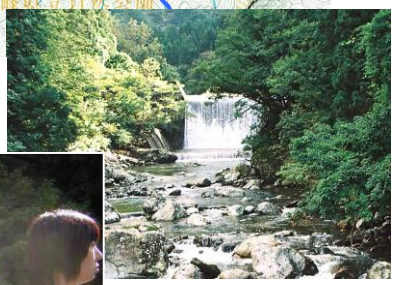
国土交通省湯沢砂防事務所　平成１９年１０月発行

10 月 10 日水曜日、7 名の女性モニターの方々に参加いただき、三国川流域の砂防施設見学会を行いました。見学会の後はＦＭゆきぐににて、意見交換会を行いました。モニターの皆様から、砂防を一般の方々にアピールするための工夫についてご意見をいただきました。

（新潟県　魚沼地方周辺）

＜位置図＞





五十沢キャンプ場の吊橋から川を見学。

上流には新潟県所管の砂防えん堤（重力式コンクリート製）も見えました。

＊＊プログラム＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

8:40　六日町駅出発

9:10　五十沢川見学地到着

　　五十沢キャンプ場見学

　　五十沢川砂防えん堤見学、質疑応答

10:00　野中沢砂防えん堤到着

　　野中沢砂防えん堤見学、質疑応答

11:10　ＦＭゆきぐに着

　　意見交換会

　　・湯沢砂防の広報活動について

　　・ＦＭゆきぐにの施設を利用した広報

12:00　終了・現地解散

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

吊橋の下流の様子。川には大きな岩がゴロゴロしていました。昔、土石流で上流から流れてきたものと考えられます。

五十沢川砂防えん堤

大きなジャングルジムのような形の五十沢川砂防えん堤です。土石流で岩や流木が流れてきた時はここで止めますが、日頃の出水で移動する細かい土砂は流します。魚や動物の行き来ができるように、生態系に優しいことが特徴の透過型砂防えん堤です。

五十沢川砂防えん堤

パネルを使って砂防えん堤のタイプと特徴を説明。

モニターのみなさんは熱心な表情で聞いています。

＊女性モニターさんからの質問＊

Ｑ：たまった土砂は定期的に取り除くの？

Ａ：小規模の洪水で出た土砂は、その後の普段の流れで徐々に下流に流れていきます。ただ、土石流が起こった場合、大きな岩などが鋼製枠の上流に詰まってしまいますので、その時は工事で取り除かなくてはいけません。

Ｑ：鋼製枠は積雪時でも大丈夫なの？

Ａ：雪でつぶされるようなことはありません。上流から来る土石流を止めても大丈夫なように計算して造られているので、とても頑丈なものです。

Ｑ：五十沢川砂防えん堤のような透過型の砂防えん堤って、県内に他にもあるの？

Ａ：新潟県内では他にもあります。前回見学した登川にも途中の支川に透過型の砂防えん堤をいくつか設置しています。

三国川の災害（昭和 44 年 8 月 12 日の災害）

三国川では、昭和 44 年の雨がもたらした異常出水のため、多量の土砂が流出し、六日町を中心にかつてない被害を受けました。

本州中部を斜めに横切る前線が 8 月 9 日から次第に北上し、強い雨域がゆっくりと新潟県内を北東に進んだため、魚野川と支川の三国川流域一帯が集中豪雨に見舞われました。死者 2 名、重傷者 2 名、床上浸水 811 戸、床下浸水 910 戸、全壊家屋 32 戸等を出しています。

流失した物置小屋（旧六日町野中）

野中沢砂防えん堤

こちらも透過型砂防えん堤の一つで、スリットタイプの砂防えん堤です。上流から土石流や大きな石が一度に押し寄せると、スリットを通ることができず、この上流で止まります。平常時は、スリットの間から細かい土や砂が水と一緒に下流に流れています。

野中沢砂防えん堤

女性モニターさんからたくさんの質問がありました。

メモを取っているモニターさん

＊女性モニターさんからの質問＊

Ｑ：この砂防えん堤のスリットが一つなのは何故？

Ａ：ここは水の量が普段から多いところではないので、一つのスリットで十分水の量が流せます。水の量によってスリットの数が決まります。

Ｑ：砂防施設を造る位置はどうやって決めているの？

Ａ：いくつか条件はありますが、一つは地面の状況が良いところ。それと、なるべく川幅の狭いところに作った方が、使うコンクリートの量が少なくて済みます。また、砂防えん堤は、いざという時に土を溜めますから、なるべく多くの土が溜まるようなところを選んでいます。

Ｑ：このえん堤は全てコンクリートで作ってあるの？

Ａ：五十沢川砂防えん堤は鋼鉄製の網で中が空いていましたが、このえん堤は全体がコンクリートでできています。コンクリート製の砂防えん堤でも、セメントが貴重だった時代には大きな石を詰めて、使用量を節約していました。

２つの砂防えん堤を見学して～女性モニターアンケートより～

・今日は川の「左岸」「右岸」が分かったことが大きな収穫でした。
・初めて透過型の砂防えん堤を見ました。いろいろなえん堤の型、工法があることを再認識しました。
・その土地の石の大きさを計って、それに基づいたえん堤を作ることを初めて知りました。
・大きな枠組みで、ここで止まる巨大な岩石が下流に流出したら、さぞ大きな被害が出るのだろうと思いました。
・五十沢川砂防えん堤のデザインが素敵でした。でも現場は雑草で施設が見えにくく、残念でした。
・今回見学した五十沢川砂防えん堤のようにジャングルジムみたいな形があるとすれば、もっといろんな形を見てみたいと思います。

意見交換会

湯沢砂防では、地域の方々に砂防事業を知っていただくため、六日町駅前商店街に位置するコミュニティーラジオ局のＦＭゆきぐにホールを活用する計画を検討しています。そこで、どのようにアピールすれば効果的か、どのような工夫が必要か、女性モニターの皆様からご意見をいただきました。

実際に使用するホールを見ながら、意見を伺いました。

熱心に説明するモニターさん。「一般の人がこのホールに入りやすい工夫を」との意見をいただきました

○女性モニターさんからのご意見○

- ＦＭゆきぐにのホールの利用は大賛成。通行中の皆さんが**ぜひ足を止めて下さる施設にして欲しい**です。
- 展示の内容としては**視覚に訴えるものがいい**ので、模型展示とか映像がいいと思います。
- イベントの内容や募集告知などの**情報も欲しい**です。
- 時期を考えた展示や**ターゲットを絞った展示もいい**のではないでしょうか。夏休み前には川遊びできる場所の情報提供、イベント前には昨年度の映像を流すなど。
- **自然破壊、環境保護**で世論が盛り上がっているので、そういう観点から砂防をアピールするのもいいと思います。
- **専門用語でなく、遊び心**のある文字、言葉遣いなど、親しみやすい感覚が必要と思います。
- 砂防事務所も**やわらかい印象にしていくことが大切**！そうすると、少しでも地域の皆さんと一体化していけるようになるのでは。
- 「砂防事務所」の表記では堅い気がするので、ひらがなやイラストを工夫してやわらかくすることも大切。**砂防の意味の表記もするべき**と思います。

湯沢砂防より

今回は管内でも人口が多い六日町の砂防えん堤がある２箇所を、女性モニターの皆様に見学していただきました。

タイプの違った透過型の砂防えん堤で、自然に優しいという特徴やデザイン面からも評価いただいたことはたいへんうれしく思います。

また、コミュニティーラジオ局のホールを情報発信の拠点にすることについて、ご理解と女性らしいアドバイスをいただくことができました。ありがとうございました。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課　　TEL：025-784-2073　　FAX：025-784-2441
〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立 23　ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/